平成25年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年3月14日

上場会社名　アスクル株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2678　URL　http://ir.askul.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岩田　彰一郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員　経営管理本部長　(氏名) 梶川　伸一　TEL 03-4330-5130

四半期報告書提出予定日　平成25年3月29日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第3四半期の連結業績(平成24年5月21日～平成25年2月20日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第3四半期	165,614	6.6	4,872	△2.6	5,063	1.6	4,374	148.3
24年5月期第3四半期	155,376	7.0	5,004	22.5	4,983	23.8	1,762	55.4

(注)包括利益　25年5月期第3四半期　4,303百万円　(140.8%)　24年5月期第3四半期　1,787百万円　(57.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第3四半期	80.91	―
24年5月期第3四半期	56.77	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年5月期第3四半期	107,222	54,402	50.0
24年5月期	109,011	51,698	46.7

(参考) 自己資本　25年5月期第3四半期　53,599百万円　24年5月期　50,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	―	15.00	―	15.00	30.00
25年5月期	―	15.00	―		
25年5月期(予想)				15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 5月期の連結業績予想(平成24年 5月21日～平成25年 5月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	227,000	6.6	6,650	0.5	6,650	2.2	5,000	117.2	92.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年5月期3Q	54,218,000 株	24年5月期	54,218,000 株
② 期末自己株式数	25年5月期3Q	150,359 株	24年5月期	150,359 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年5月期3Q	54,067,641 株	24年5月期3Q	31,039,097 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）重要な後発事象 …… 8
５．補足情報 …… 9
販売費及び一般管理費の明細（連結） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成24年５月21日～平成25年２月20日）におけるわが国経済は、電力料金の値上げや消費税増税の動きにより内需回復の足取りは重いものの、政権交代以降の金融緩和政策などにより円安傾向が進み株価も上昇するなど景気回復の兆しが見えてまいりました。

このような状況のなか、通信販売業界は拡大が見込まれる有望な市場ではあるものの、小売業のみならず異業種からの参入も相次ぎ、価格やサービスの競争も一層激化しております。

当社グループは、オフィスで利用される消耗品や生活用品等の商材に加えて、工場・建設現場・研究所などの現場で利用される間接材（ＭＲＯ商材）を中心に品揃えを約38万アイテムへと継続的に拡充すると共に、それらを迅速にお届けするデリバリーサービスによってお客様基盤の拡大を図ってまいりました。また、ヤフー株式会社との提携による本格的な一般消費者向けインターネット通信販売サイト「ＬＯＨＡＣＯ（ロハコ）」を平成24年11月20日にグランドオープンし、皆さまの「くらしをかるくする」をコンセプトとして生活必需品を最短で当日お届けするサービスを開始いたしました。

当社は、①Yahoo！JAPANのトップページにリンクを掲載するなどの圧倒的な集客力、②平日昼間中心のオフィス向け需要と休日・平日夜間中心の一般消費者向け需要を組み合わせることによる24時間365日を通じた物流施設の高稼働、③オフィス用品販売で培ったメーカー約800社との直接取引に裏付けられた圧倒的価値・価格の提供、といった構造的優位性を最大限に活用し、一般消費者向け通信販売ビジネスを従来のオフィス用品通信販売に並ぶ新たな成長エンジンとすることで、本格的な総合Ｅコマース（電子商取引）企業への変革を進めてまいります。

また、「ＬＯＨＡＣＯ」向け商品を中心とした当日/翌日お届けが可能な商品数の大幅な拡大を目的に東京・大阪の既存物流センターを拡張するとともに、平成25年７月稼働を目指して「（仮称）埼玉物流センター」の建設を進めております。

当第３四半期連結累計期間の売上高は、1,656億14百万円（前年同期比6.6％増）と第３四半期連結累計期間としては過去最高の金額となりました。これは、前述の品揃え拡大に伴うお客様基盤の拡大に加えて、中堅・大企業向け購買システムのソロエルアリーナのご利用企業数が伸長したこと、商品面では、洗剤、トイレットペーパー、ティッシュペーパー等の事業所内で利用される日用品や飲料等の販売が好調であったこと、また、マスクなどの衛生用品や作業現場等で利用される梱包資材や粘着テープなどの売上が拡大したことによるものです。

売上総利益は368億94百万円（前年同期比6.2％増）となりました。着実な原価低減活動やＰＢ商品の増加などによって商品粗利を維持したことから、前年同期並みの22.3％の売上総利益率を確保し、第３四半期連結累計期間としては過去最高の売上総利益となりました。

販売費及び一般管理費は、320億21百万円（前年同期比7.7％増）となりました。前期に引き続きローコストオペレーションを徹底し、既存事業については更なる収益力の向上を果たす一方、「ＬＯＨＡＣＯ」の立ち上げに当たって、認知度向上を目的とした広告宣伝費や、既存物流センターの拡充による地代家賃の増加など、先行的に費用を投下したことによって、売上高販管費比率は、前年同期比で0.2ポイント増加の19.3％となりました。これらの要因によって、営業利益は48億72百万円（前年同期比2.6％減）、経常利益は50億63百万円（前年同期比1.6％増）となりました。また、アスマル株式会社および愛速客楽（上海）貿易有限公司の再編に伴って法人税等合計が減少したことから、四半期純利益は43億74百万円(前年同期比148.3％増)と過去最高益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は1,072億22百万円となり、前連結会計年度末と比べ17億89百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金が６億70百万円、前述の法人税等合計が減少したことにより未収還付法人税等が６億円、主として「（仮称）埼玉物流センター」新設に伴い有形固定資産が８億６百万円、繰延税金資産（固定）が５億81百万円それぞれ増加に対し、現金及び預金が50億96百万円減少したことによります。

負債は528億19百万円となり、前連結会計年度末と比べ44億93百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が32億12百万円、未払金が６億80百万円増加したのに対し、ファクタリング未払金が56億57百万円、長期・短期借入金が15億94百万円、未払法人税等が14億34百万円それぞれ減少したことによります。

純資産は544億２百万円となり、前連結会計年度末と比べ27億３百万円増加いたしました。主な要因は四半期純利益43億74百万円の増加に対し、配当金の支払により16億22百万円減少したことによります。

以上の結果、自己資本比率は50.0％（前連結会計年度末は46.7％）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社は平成25年３月14日開催の取締役会において、平成24年７月４日に公表しました平成25年５月期通期（平成24年５月21日～平成25年５月20日）の連結業績予想を、以下の通り修正することといたしました。

連結売上高は、既存事業の伸長により過去最高の売上高を見込むも、「ＬＯＨＡＣＯ」の立ち上がりの状況から計画を見直した結果、前期から140億円増収の2,270億円にとどまる見込みです。

連結営業利益・経常利益については既存事業における収益力の向上を果たしているものの、引き続き「ＬＯＨＡＣＯ」の立ち上げおよび成長のために広告宣伝費などの先行的費用を投下することから、前期並みの66億50百万円となる見込みです。

一方、当期純利益は、愛速客楽（上海）貿易有限公司の解散・清算に伴う法人税等合計の減少等により、従来予想を７億円上回ることから、過去最高益の50億円（前期比117.2%増）となる見込みです。

平成25年５月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年５月21日～平成25年５月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（Ａ）	239,000	7,300	7,200	4,300	79.53
今回修正予想（Ｂ）	227,000	6,650	6,650	5,000	92.48
増減額（Ｂ－Ａ）	△12,000	△650	△550	700	－
増減率（%）	△5.0	△8.9	△7.6	16.3	－
（ご参考）前期実績（平成24年５月期）	212,932	6,617	6,504	2,301	74.01

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年５月21日以降に取得した有形固定資産のうち定率法を採用するものについては、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年５月20日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年２月20日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,062	44,966
受取手形及び売掛金	25,382	26,052
商品及び製品	8,391	8,728
原材料及び貯蔵品	91	72
未収還付法人税等	―	600
その他	4,389	5,043
貸倒引当金	△60	△34
流動資産合計	88,257	85,429
固定資産		
有形固定資産	4,444	5,251
無形固定資産		
ソフトウエア	5,291	5,107
ソフトウエア仮勘定	87	114
のれん	4,086	3,682
その他	42	39
無形固定資産合計	9,507	8,943
投資その他の資産		
繰延税金資産	3,211	3,793
その他	3,690	3,951
貸倒引当金	△99	△147
投資その他の資産合計	6,802	7,597
固定資産合計	20,754	21,793
資産合計	109,011	107,222
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,707	28,920
短期借入金	695	―
1年内返済予定の長期借入金	1,861	1,868
未払金	3,588	4,269
ファクタリング未払金	15,667	10,010
未払法人税等	1,618	184
引当金	763	1,007
その他	824	1,277
流動負債合計	50,727	47,538
固定負債		
長期借入金	2,807	1,901
退職給付引当金	1,405	1,517
引当金	32	5
資産除去債務	1,409	943
その他	931	913
固定負債合計	6,585	5,281
負債合計	57,312	52,819

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年５月20日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年２月20日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,035	20,035
資本剰余金	22,515	22,515
利益剰余金	8,709	11,462
自己株式	△254	△254
株主資本合計	51,006	53,759
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△53	△159
その他の包括利益累計額合計	△53	△159
新株予約権	660	719
少数株主持分	85	82
純資産合計	51,698	54,402
負債純資産合計	109,011	107,222

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年５月21日 至　平成24年２月20日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年５月21日 至　平成25年２月20日）
売上高	155,376	165,614
売上原価	120,647	128,720
売上総利益	34,728	36,894
販売費及び一般管理費	29,724	32,021
営業利益	5,004	4,872
営業外収益		
受取利息	22	73
為替差益	－	172
災害見舞金	4	－
その他	37	31
営業外収益合計	64	277
営業外費用		
支払利息	43	31
支払手数料	3	32
為替差損	17	－
その他	21	22
営業外費用合計	85	87
経常利益	4,983	5,063
特別利益		
新株予約権戻入益	236	4
災害損失戻入益	601	－
その他	6	0
特別利益合計	844	4
特別損失		
減損損失	786	32
固定資産除却損	81	22
関係会社整理損失引当金繰入額	－	279
解約違約金	3	－
その他	1	8
特別損失合計	872	342
税金等調整前四半期純利益	4,955	4,724
法人税、住民税及び事業税	1,949	854
法人税等調整額	1,230	△538
法人税等合計	3,179	316
少数株主損益調整前四半期純利益	1,775	4,408
少数株主利益	13	33
四半期純利益	1,762	4,374

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年５月21日 至　平成24年２月20日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年５月21日 至　平成25年２月20日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,775	4,408
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	11	△104
その他の包括利益合計	11	△104
四半期包括利益	1,787	4,303
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,773	4,268
少数株主に係る四半期包括利益	13	34

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）重要な後発事象

（連結子会社の吸収合併）

当社は、平成24年12月５日開催の取締役会において、平成25年２月21日を効力発生日として、当社100％出資の連結子会社であるアスマル株式会社（以下、「アスマル」といいます。）を吸収合併することを決議し、平成25年２月21日に吸収合併いたしました。

１．合併の目的

当社グループは、オフィス通販№１からＥコマース№１への変革を目標として掲げ、法人向け（BtoB）事業においては、オフィスの枠組みを超えて、飲食店向け商品や医療機関専用の医療材料、建設現場や工場・研究所向けの工具や理化学品など、あらゆる仕事場で必要とされる商品をＷｅｂ中心に拡販することにより、売上高の拡大を目指しております。加えて、一般消費者向け（BtoC）事業へ本格的に参入すべく、平成24年４月27日にヤフー株式会社と業務・資本提携契約を締結しました。平成24年11月20日に新たな一般消費者向けインターネット通販サービス「ＬＯＨＡＣＯ」をグランドオープンし、さらなる成長を目指しております。そして、BtoB事業とBtoC事業の相乗効果（仕入原価低減、物流コスト効率化）により、収益性の飛躍的な向上を目指しております。このような状況下、アスマルについては「ＬＯＨＡＣＯ」と融合を図り、これまで蓄えたノウハウ・知見を「ＬＯＨＡＣＯ」で最大限活用することが、当社グループのさらなる成長に寄与するものと判断し、当社に吸収合併することといたしました。

２．合併の要旨

①合併の日

平成25年２月21日

（注）当社においては会社法第796条第３項に基づく簡易合併であり、アスマルにおいては同法第784条第１項に基づく略式合併であるため、それぞれの合併契約の承認に関する株主総会を開催いたしません。

②合併の方式

当社を存続会社とし、アスマルを消滅会社とする吸収合併方式です。

③合併に係わる割当ての内容

当社は、アスマルの株式を100％所有しているため、本吸収合併による新株の発行及び資本金の増加並びに合併交付金の支払いは生じません。

④消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

３．被合併会社の概要（平成24年５月20日現在）

名称	：	アスマル株式会社
代表者の氏名	：	代表取締役　酒川 美代子
本店の所在地	：	東京都江東区豊洲三丁目２番３号
資本金の額	：	40百万円
純資産の額	：	△2,076百万円
総資産の額	：	223百万円
事業の内容	：	インターネットによる個人向け通信販売事業

４．合併後の状況

本吸収合併による当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期の変更はございません。

５．実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号　平成20年12月26日）に基づき、共通支配下の取引として処理いたします。

５．補足情報

販売費及び一般管理費の明細（連結）

科目	前第３四半期 連結累計期間 （自　平成23年５月21日 至　平成24年２月20日）		当第３四半期 連結累計期間 （自　平成24年５月21日 至　平成25年２月20日）			（参考）前期 平成24年５月期 （自　平成23年５月21日 至　平成24年５月20日）	
	金額 （百万円）	売上比 （％）	金額 （百万円）	売上比 （％）	前年同期比 （％）	金額 （百万円）	売上比 （％）
人件費※1	7,583	4.9	8,700	5.3	114.7	10,471	4.9
配送運賃	5,334	3.4	5,839	3.5	109.5	7,100	3.3
販売促進引当金繰入額	422	0.3	427	0.3	101.2	552	0.3
業務外注費	2,467	1.6	2,592	1.6	105.1	3,387	1.6
業務委託費※1	3,962	2.6	3,723	2.2	94.0	5,439	2.6
地代家賃	3,477	2.2	3,775	2.3	108.6	4,792	2.3
貸倒引当金繰入額	△29	△0.0	35	0.0	－	△23	△0.0
減価償却費	574	0.4	577	0.3	100.6	780	0.4
ソフトウエア償却費	1,753	1.1	1,505	0.9	85.8	2,262	1.1
その他諸経費※２	4,176	2.6	4,844	2.9	116.0	6,110	2.7
合計	29,724	19.1	32,021	19.3	107.7	40,873	19.2

※１　前年同期と比較して、当第３四半期連結累計期間の業務委託費が減少し、人件費が増加しておりますが、主な要因は、物流センター勤務者の雇用形態変更による増減であります。

※２　前年同期と比較して、当第３四半期連結累計期間のその他諸経費が増加しておりますが、主な要因は、「ＬＯＨＡＣＯ」の認知度向上を目的とした広告宣伝費等の増加であります。